



# なすびの花

## 2022年度社長方針

イーエルの、2022年度が始まりました。今年度の社長方針として、次の2本柱が発表されました。

### ・方針①

各部署もう一度業務のフローを見直して、4M3H管理の徹底を図り、仕事の標準化を行うために、社外を知り、自社を知ってほしい

### ・方針②

当たり前のように受注後に各部署がやるべきことを理解して、指示なくても業務がミス・漏れなく進む状況を目指す

そして、社長方針の実現に向けて、従業員に取組んでもらいたい内容として、次の2点を挙げられています。

### ・方針①の実行手段)

今年度も個人の成長できる取り組みを目標にしてほしい

### ・方針②の実行手段)

どのような案件に対しても、『各部署どんな対応が必要なのか?』、ミスや作業漏れを『事前に』防ぐためにも、それぞれが行うべき対応を考えてほしい

私たちの新年度の始まりということで、初心に戻って、自分の日々の仕事を見つめなおす良い機会です。

9月からは繁忙期にも入りますので、時間的にもなかなか厳しいかとは思いますが、忙しい時期だからこそ、自分の仕事と向き合う時間を作って、心の余裕を持つことが大切ですね。

また、各部署で、2022年度の品質環境目標が設定されました。

各部署、社長方針に合致する品質環境目標となっているかを、今一度確認してください。

今年度も、各部署の目標達成に向けて、全員が心身ともに健康で、そして誠実に、最良の品質と最良の環境の維持を続ける一年にしましょう。

## 自然災害への備え

長かった今年の夏もようやく終わりを告げ、少しずつ暑さのやわらぐ季節となりました。

気象庁の情報によると、去年の秋からラニーニャ現象が続いていて、更にこの秋の終わりまで続く可能性が高いとのことです。

ラニーニャ現象が発生すると、世界中の天候に影響を及ぼし、日本では夏の気温が平年より高めとなります。

このため今年の日本は、暑さの厳しい夏となりました。

ちなみにラニーニャ現象下では、冬も寒さが厳しいとのことで、今年の春が来るまで、本当に寒い冬でしたね。

さて、8月～10月は、風水害の起りやすい季節です。

8月、京都府に雨雲が停滞し、真夜中に激しい雨が続き、恐怖を感じた人も多いのではないのでしょうか。

うか。

近年は温暖化の影響か、台風以外でも、全国的に集中豪雨も多く、災害に対する不安が常にあります。

我が社の立地で考えると、大雨の後の通勤路や、社屋周辺の土砂災害にも、大変不安を感じます。

ここでも度々テーマにしていますが、地震対策のための備えや防災用品などは、どの自然災害時にも役立ちます。

防災用品は、台風の直前になると、売り切れてしまっていることがよくあります。

飲料水や食糧備蓄、携帯ラジオ、乾電池、簡易トイレ、雨合羽、懐中電灯、軍手、ロープ、ブルーシートなどを早めに準備し、すぐに使える状態であることを確認しておくことが大事です。

また、窓ガラスの飛散防止フィルムは、普段から貼っておく必要があります。

日頃から気象情報に注意し、家族間でも避難方法や連絡の取り方などを共有しておきましょう。

## マイクロソルダリング技術

上級オペレータ合格者

さん  
さん

マイクロソルダリング技術とは、微細な部品をハンダ付けする技術です。

『個人の成長』のために、我が社では、資格の取得や、セミナーの受講といった、スキルアップへの支援制度があります。我が社で役立つ資格に関する情報について、現在資料を準備しています。